

七月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三二

近くの川では、数年前からホタルが見られます。ひっそりとけなげに、確かな光明を放っています。皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十七年七月のご案内を申し上げます。

第二百五十二回

人生講座

日時 七月十二日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

福間 玄 猷 師



■福間(ふくま)先生、四十三歳。広島県三次(みよし)市、源光寺住職。十九年前、縁あって当山より入寺しました。平成二十三年に継職法要が厳修され、源光寺様の法灯を継承されました。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。

■夏の日差しが容赦なく降りそそぐ昼下がりに。冷房の効いた本堂でイスに腰かけ、仏さまのお話を聞いてみませんか？

●西福寺仏教婦人会総会

西福寺仏教婦人会は、真実を求めて生きぬかれた親鸞聖人のみあとを、人間に生まれたい尊さにめぐみ、深く如来の本願を聞きひらき、み法の母として念仏生活にいそむ女性のための会です。京都・西本願寺での念仏奉仕団や当山報恩講など、女性ならではの細やかな心配りで、宗門と当山の護持発展にご尽力いただいています。また、彼岸会寄席やコンサート、研修旅行など楽しい行事もごぞいます。
左記の通り、総会を開催いたします。会員の皆さま、ご出席のほどよろしくお願ひ申し上げます。

日時/場所: 2015(平成27)年7月14日(火) 昼2時〜 / 西福寺本堂

お盆のお参りは、お早め。

南無阿彌陀仏をと念ふれば
観音・勢至はもととも
恒沙塵数の菩薩と

かげのこくに身にそえ

「先祖方を偲びつつ、「お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。

「家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべく」希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定までは「遠慮下さい」。当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。

また、初盆をお迎えになる方を優先させていただきます。何卒ご理解ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

電話: 072-62213725



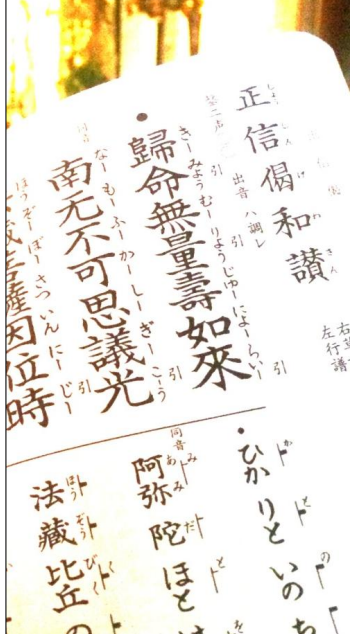
正信偈のつづろ ①

当山住職に就任して10年あまり。有縁の皆さまのお育てに預かりながら、この地に受け継がれてきた法灯を絶やさぬよう努めてまいりました。

先の「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要」ご修行にあたり、前門様は次のご指摘されました。「今日では、人間中心の考えがいよいよ強まり、一部の人びとの利益追求が極端なまでに拡大され、世界的な格差を生じ、人類のみならず、さまざまな生物の存続が危うくなっています。さらに、急激な社会の変化で、一人ひとりのいのちの根本が揺らいでいる――」

恥ずかしながら、私自身、我が身と私のささやかな家庭を守ろうとするあまり、価格の安さやものの手軽さに目を奪われ、生産現場の搾取や資源の収奪という問題を顧みることなく、一部の人びとの利益追求に結果として加担しています。また、制御不能な科学技術に身をゆだねた生活様式は、深刻な環境破壊を引き起こし、私たちの生存すら脅かされています。

信じていたものに裏切られ、愛が憎しみに変わっていく世界にあって、いのちの根本を安からしむる正しい信心とは何か？ 私たちが、日々お勤めする「正信偈」を本願寺第八代宗主蓮如上人の注釈書「正信偈大意」を手がかりに、そのおこころを伺ってみたいと思います。



八月のご案内

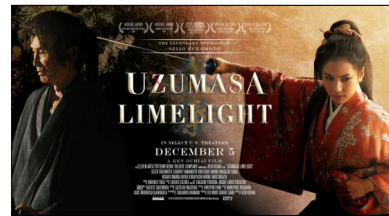
〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一三
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 074-753-5757 FAX 074-753-5759

宗祖が勢至菩薩の化身と仰がれた法然聖人の父漆間時国は「われこのきずいたむ。人またいたまざらんや。われこのいのちを惜しむ。人あに惜しまざらんや」とご遺言されました。皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十七年八月のご案内を申し上げます。

うら ほん え

盂蘭盆会

日時 八月十五日（土）夜七時〜九時
講師 当院住職自勤



■「お盆は、『盂蘭盆経』の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道（がきどう）に墮ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者（もくれんそんじや）。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま（菅純和著『仏事の小箱』）。親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。
「太秦ライムライト（2014年・日本）」上映予定。

●お盆のお参りについて

「正信念仏偈」と下記の「四句念仏・回向」そして「ご文章」をお勤めいたします。どうぞ、有縁の方々と一緒に参り下さい。
「正信念仏偈」は、「十二礼（じゅうにらい）」の節でお勤めいたします。「行譜」・「草譜」でのお勤めの際は「善導独明佛正意」で調声人が独唱いたしますが、この場合は、そのまま続けてともに唱和いたします。なお、人生講座はお休みです。

* * *

西福寺歡喜会（かんぎえ）

平素より宗門ならびに当山西福寺の護持発展のため、格別のご配慮を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り8月9日、「歡喜会」をお勤めいたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、当日各世帯代表者1名のご参拝をお願い申し上げます。今後ともご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- 一、日時 8月9日（日）午後6時〜
 - 二、会所 西福寺本堂
 - 三、持物 聖典・念珠・式章（持参ください）。
- ※西福寺上野門徒のみ。

●平成28、29年 伝灯奉告法要

念佛 律曲 平調

南无阿彌陀佛

南无觀世音菩薩

南无大勢至菩薩

南无清淨大海

衆菩薩

回向 律曲 黄鐘調

願以此功德

平等施一切

同發菩提心

往生安樂國

◆正信偈

「正」とは、傍（かたわら）に対し、邪（よこしま）に対し、雜（夾雜）に対する言葉です。「信」とは、疑（うたがひ）に対し、行（修行）に対する言葉です。

◆帰命無量寿如来 南無不可思議光

【意訳】ひかりといのちきわみなき 阿彌陀ほとけを仰がん

「帰命無量寿如来」とは、限りなきいのちの仏さまである阿彌陀如来に南無せよということ。す。「南無不可思議光」とは、仏智により真実が明らかとなるさまが、すぐれた光明がかなる暗闇をも打ち破っていくさまに重ねて説かれています。「帰命無量寿如来」とは、南無阿彌陀仏を中国のことばで訳したものです。南無阿彌陀仏とは、人知をもって伺い知ることができず、当然ことばで言い表すこともできません。それゆえ、南無不可思議光と申します。真実を見る術を持たず、欲にかられて迷妄の日々に終始し、いたずらに生涯を終えていく私たちを必ず救うと誓われ、すでに成就されているから、報身如来ともいい、尽十方無碍光如来とも申します。

宗祖親鸞聖人の「一念多念証文」には、次のように書かれています。

「この如来を方便法身とは申すなり。方便と申すは、かたちをあらはし、御名をしめして、衆生にしらしめたまふを申すなり。すなはち阿彌陀仏なり。この如来は光明なり、光明は智慧なり、智慧はひかりのかたちなり、智慧またかたちなければ不可思議光仏と申すなり。この如来、十方微塵世界にみちみちたまへるがゆゑに、無辺光仏と申す。しかれば、世親菩薩（天親）は「尽十方無碍光如来」となづけられたまへり」。

正信偈のこころ ②

石川欣世先生の
法話のダイヤル 0743-53-4488

九月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
TEL 0773-3375 FAX 0773-3375
浄土真宗 本願寺派 西福寺

空高く、涼やかな風が吹きわたっていきまます。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十七年九月のご案内を申し上げます。

第二百五十三回

人生講座

日時 九月十三日(日) 昼二時〜四時
講師 行信教校講師

佐々木覚爾師



■佐々木(ささき)先生、四十二歳。大阪市平野区、専龍寺住職。月刊誌『御堂さん』の編集に携わっておられ、親鸞聖人のご旧跡を訪ねる紀行では、美しい写真とともに素直で味わい深い文章が大変好評でした。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

●るんにびに学園発表会(9月11日(金) 昼2時〜/本願寺聞法会館)

やなせななど「るんにびに」の子どもたち

■やなせなな プロフィール

シンガーソングライターとして活躍する奈良県出身の僧侶。2004年にシングル「帰ろう」でデビューし、生死の苦悩や、命に対する暖かなまなごしを歌にする。「歌う尼さん」として全国各地で寺院コンサートや、エッセイストやラジオ番組のDJとしても活躍する。

●日 時…平成27年9月11日(金) 14時〜16時(開場13時30分)

●会場…本願寺聞法会館3階多目的ホール(京都市下京区堀川通り花屋町下ル)

●入場無料・申込不要

※問い合わせ先…るんにびに学園 0773-4610543

彼岸会コンサート

清風宝樹をふくときは
いつつの音声いだしつづ
宮商和して自然なり
清浄勲を礼すべし

西福寺仏教婦人会9月の例会は、彼岸会(ひがねえ)コンサートです。龍笛・篠笛奏者の出口煌玲さんとピアノの榎原明子さんをお迎えします。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。運営協力金として千円、ご負担ください。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、ご鑑賞いただきます。

日時…9月20日(日) 午後2時〜3時半
場所…西福寺本堂

平成28、29年 伝灯奉告法要

この如来に南無し帰命すれば、攝取不捨の利益により、凡夫としてのいのち尽きたとき、真実報土に生まれるという最高の悟りが得られるのである。

「南無」と「帰命」について、蓮如上人は御文章の中で『「南無」の二字は帰命のころなり。「帰命」といふは、衆生の、もろもろの雑行をすてて、阿弥陀仏後生たすけたまえ一向にたのみたてまつるころなるべし』と述べられています。

◆法蔵菩薩因位時 在世自在王仏所 親見諸仏浄土因 国土人天之善悪

【意訳】法蔵比丘のいにしえに 世自在王のみもとにて 諸仏浄土の因たすね 人天のよしあしみそなわし

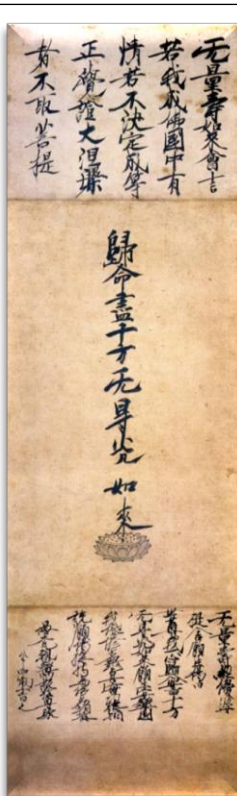
「法蔵菩薩因位時」難中之難無過斯」の四十四句二十二行は、お釈迦さまのみ教えである「仏説無量寿經」の要点を説いたものです。

「印度西天之論家」明如来本誓忘機」の四句で、インド・中国・日本の高僧方によって、阿弥陀仏の浄土に往生し悟りを開く教えがもたらされたことを述べ、「釈迦如来楞伽山」唯可信之高僧説」で、七高僧がそれぞれ讃えられています。

「世自在王仏」とは、阿弥陀仏の昔の師匠のことです。法蔵菩薩として修行を始めるにあたり、世自在王仏に導かれ二百一十億の諸仏の国々を見て回り、悪きを選び捨て、良きを選び取り、自らが建立するべき浄土を願われました。

正信偈のつづき ③

石川欣也先生の 法話のダイヤル0743-53-4488



十月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三十一
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三十一

先の台風18号が、各地に深い爪痕を残していきましました。1日も早い復旧を望みます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十七年十月のご案内を申し上げます。

報恩講法要厳修

日時 十月十七日(土) 昼二時・夜七時
 十八日(日) 朝十時

講師 前築地本願寺宗務長

北 畠 晃 融 師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとってもっとも大切なご法縁といえます。(本願寺ホームページより)

■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●報恩講の準備にご協力下さい

* * *

毎回、世話役の方々を中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

10月13日(火) 午後7時〜於西福寺本堂 おみがき(仏具を磨きます)
 10月16日(金) 午後7時〜於西福寺本堂 おかざり(供物をそなえつけます)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725

親鸞聖人を偲ぶ報恩講

10月17日(土) 夜7時からの初夜法要では、「奉讀大師作法(ほつさんだいしさほう)」が勤められます。「るんびに太鼓」のメンバーによる雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈のお勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散華、色とりどりの花が舞います。回向句がとなえられ、諸僧退出。法要は終わります。

お勤めの後「親鸞聖人物語」のビデオ鑑賞。10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形が生き生きと親鸞聖人の「ご生涯を描き出します。皆さまからご提案頂き、昨年同様、10月に執り行います。お間違いないよう、お誘い合わせの上、お参り下さい。

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日



生死いずべき道

正信偈のつづろ ④

◆建立無上殊勝願 超發希有大弘誓

【意訳】すぐれし願を建てたまひ まれなる誓いおこします

諸仏の浄土を選び取り、西の彼方に極楽という浄土を建立されました。この上なく優れているので、超世希有の大願とも横超の大誓願とも申します。

◆五劫思惟之撰受

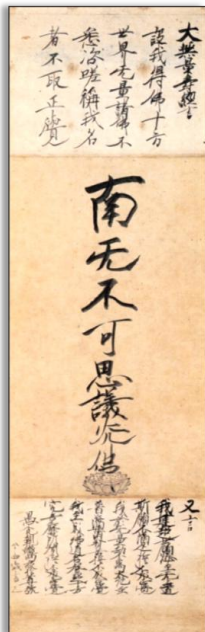
【意訳】ながき思惟の時へてぞ この願選り取りませり

一劫とは、四十里(約16km)四方の石を三年に一度ずつ天女が身にまとうような薄い衣で払って、その石が摩滅するほどの長い時間のことで、その五倍もの時間をかけて法蔵菩薩は考え抜かれ、どれほどの罪人であれ障り多き者であれ、一人として漏らすことなく浄土へと導き入れようと誓われました。

◆重誓名声聞十方

【意訳】かさねてさらに誓うらく わが名よひろく聞こえかし

十方のありとあらゆる世界の中で、たとえひとつでも我が名の届かないところがあつて、救うことのできない者がいるような不完全な悟りしか得られなければ、決して阿弥陀仏とは成らないと誓われました。



十一月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一三二
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一三二

澄んだ夜空、月は静かに、収穫終えた田んぼを柔らかな光で、包みこみます。
 皆様には如何お過ごしでしょうか。
 平成二十七年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 安楽寺(太田) 10月24日 13時半 / 25日 13時半
- 称名寺(総持寺) 10月24日 14時 / 25日 10時
- 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
- 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
- 万徳寺(氷室) 11月14日 14時・19時 / 15日 13時半
- 常見寺(五百住) 11月20日 10時・13時半
- 称念寺(高田) 11月21日 10時・13時半
- 常称寺(総持寺) 11月27日 14時 / 28日 13時半
- 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日 / 28日
- 万徳寺様では14日夜、御伝鈔(宗祖生涯の行蹟が記述された詞書)が拝読されます。

アニュアルワットへのみち

ほけたちと神々のほほえみ

9〜15世紀にかけて、現在のカンボジアの領域を中心に強大な勢力を誇ったアンコール王朝は、世界遺産アンコール・ワットに代表される豪華華麗なヒンドゥー教、仏教の美術を各地に残しました。本展では、アンコール朝時代のカンボジア石造彫刻を中心に、タイ、ミャンマーの彫刻もあわせ、東南アジア史上に燦然と輝くその神秘的な造形の変遷をたどります。同時に、日本でもおなじみの様々なほけたちや神々の姿をわかりやすく紹介します。

会期：2015年10月10日(土)〜12月20日(日)
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
 開館時間：午前10時〜午後5時※最終入館受付は4時30分まで
 会場：問い合わせ先：龍谷ミュージアム

京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前) 電話075・351・2500

御親修報恩講

法要期間
 11月11日(水)〜11月16日(月) 御親修
 15日(日) 13:30〜10:00

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の北畠先生からご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間でした。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、ご門主様御親修による法要となります。御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。

なお、1階津村ホールでは12〜15日の間泉仙の精進鉄鉢料理がお召し上がりいただけます。ご希望の方は11月3日までに代金(3500円)を添えて、西福寺までお申し込みください。

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

正信偈のつづろ ⑤

◆普放無量無辺光 無碍無对光炎王

清浄歓喜智慧光 不断難思無称光

超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

【意識】十二のひかり放ちてはあまたの国を照します
 生きとし生くるものすべてこのみひかりのうちにあり

「普放無量無辺光」超日月光」は、十二光仏のそれぞれの名前です。

①「無量光仏」：量ることのできないほどの光によって、過去・現在・未来の三世にわたって利益が等しくもたらされる。

②「無辺光仏」：十方世界の隅々まで際限なく照らしつづす。

③「無碍光仏」：山河大地・雲霧煙霞といった自然界のあらゆる事象に遮られることがなく、むさぼり・いかり・無知・おごり・たかぶりといった人間の愚かさにも妨げられない。曇鸞大師の讚阿弥陀仏偈に「光雲無碍如虚空」とあり、この徳によってあらゆる外的な障害に遮られることがない。また、善導大師の観経疏定善義には「諸邪業繫無能碍者」とあり、この力によりすべての内的な障害にも遮られることがない。

④「無对光仏」：すべての菩薩が目指す悟りの境地が阿弥陀仏の悟りには及ばない。

⑤「炎王光仏」：光炎王仏ともいう。光明自在にしてこの上ない。『大経』下巻に「猶如火王焼滅一切 煩惱薪故」とあるのは、この光の徳を讚嘆したものである。すぐれた火が生乾きの薪でさえも焼き尽くし何も残さないように、阿弥陀仏の光明は人間のどのような根深い煩惱をもことごとく消し去る。(つづく)

石川欣世先生の
 法話のダイヤル0743-53-4488

十二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL075-351155 FAX075-351157

銀杏の葉が、雨に濡れて、地面を黄色に染め上げます。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十七年十二月のご案内を申し上げます。

第二百五十四回

人生講座

日時 十二月十三日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

高島 幸博 師



■高島(たかしま)先生、三十四歳。茨木市沢良宜浜、専念寺衆徒。一般家庭に生まれ育ち、龍谷大学仏教学科入学が縁となつて、大学卒業後就職するも、30才の時に得度し僧籍を取得。翌年、専念寺へ入寺。明るくまじめな人柄が、次期住職としてご門徒のみならず宗門の期待をも集めています。
■お誘いあわせの上、ござつてお参り下さい。

●本山成人式のご案内

新成人の皆さん、おめでとうございます。

本願寺では御正忌報恩講期間中の1月10日(日)に皆さんが新成人となられたご縁として、親鸞聖人のみ教えに出遭っていただきたいとの願いのもと、「本山成人式」を開催いたします。

●日時 2016年1月10日(日)

●会場 西本願寺阿弥陀堂(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

●参加対象 1995年4月2日から1996年4月1日までの間に生まれた新成人

●参加費 無料(※帰敬式受式希望者は冥加金3,000円が必要です)

●応募方法 所定の申込用紙に必要事項を明記の上、寺院活動支援部へ組織教化担当内「本山成人式」係までお申し込みください。(電話 075-371-5181・FAX 075-351-1211)

●募集締切 2015年12月21日(月)

年末年始のお参りについて

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お逮夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までのご都合の良い日をご連絡いただければ、お伺いいたします。もしくは、来年1月1日昼1時より勤まる元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

年内：12月30日(水)まで
新年：1月5日(火)から

*葬儀など緊急の際は、ご遠慮なく
まずお寺までご連絡下さい。

TEL 072-6222-3725

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

正信偈のススメ ⑥

◆普放無量無辺光 無碍無对光炎王

清浄歡喜智慧光 不断難思無称光
超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

【意訳】十二のひかり放ちてはあまたの国を照します

生きとし生くるものすべてこのみひかりのうちにある

⑥ 「清浄光仏」…三善根の一つ無貪より生じ、衆生の貪欲(むさぼり)を治す。

⑦ 「歡喜光仏」…三善根の一つ無瞋より生じ、衆生の瞋恚(いかり)を滅す。

⑧ 「智慧光仏」…三善根の一つ無痴より生じ、衆生の無明の闇(真実の道理に暗い)を破す。

⑨ 「不断光仏」…過去・現在・未来の三世にわたつて一瞬たりとも途切れることがなく照らし続ける。

⑩ 「難思光仏」…言語の境界を越えていて、思ひはかることができない、

⑪ 「無称光仏」…どんな言葉をもつても十分に言い表すことができない。

『無量寿如来会』上巻には難思光仏を「不可思議光」と名づけ、無称光仏を「不可称量光」と述べている。

⑫ 「超日月光仏」…太陽や月の光は、はるか天上界へ及ばず、遠く地獄の底にも届かないが、仏の光は太陽や月の限界をも超えてあらゆる世界を照らし、遮られることがない。

このように阿弥陀仏は十二の光を放ち、その光はありとあらゆる世界を照らし、すべての衆生を済度する。

「一切群生蒙光照」生きとし生くるものはすべて、阿弥陀仏のお育てによって等しくこの光の利益を受けることができる。

石川欣也先生の
法話のダイヤル0743-53-4488